

# 第 10 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 23 年 6 月 19 日

夷隅健康福祉センター

江澤 綾

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣保健所に勤務する 2 年目保健師です。保健所では、特定疾患治療研究事業の申請を受け付けていて、保健師が申請者の健康状態や悩みを聞く面接をしています。

ある日、あなたの担当地区に住む多介梨代さん(80 歳, 女性)が申請にやってきました。梨代さんは無職で、認知症のある 83 歳のご主人と 2 人で暮しています。梨代さんは約 1 年前にパーキンソン病と診断され、月 1 回、遠方に住む息子に送り迎えをしてもらって通院しています。医師からの診断書には、要介護 1 と記載されていました。

あなた 「はじめまして、担当保健師です。お体の調子はどうですか？」

梨代さん 「足の動きが悪くて困っちゃうのよ～。だから転んじやって」

あなた 「家の中に手すりはついていますか？ どういう所でよく転びます？」

梨代さん 「手すりはついていないのよ。家具を伝って歩いているから。いつもトイレに座る時に転ぶの。お父さんはそんな事分かんないから、1 時間くらい転んだままになる時もあるよ。助けて～って呼んでも誰も来なくて、仕方ないから自分で起き上がるの」

あなた 「それは困りましたね。旦那さんは気付いてくれないんですね？」

梨代さん 「お父さんはボケちゃっているから・・・下着を着けないでふらっと外に出て行って、警察に連れ帰ってもらった事もあったよ。私は足が悪いから追いかけれないし。本当に困っちゃう・・・」

あなた 「梨代さんも辛いですね。介護保険で何かサービスを使っていますか？」

梨代さん 「介護保険？ いいや、何もしてないわよ」

あなた 「多介さんは要介護 1 をお持ちですから、介護保険のサービスをご利用できますよ」

梨代さん 「そうなの・・・そんなのがあったなんて、よく分からないわ。どういったことをしてもらえるの？」

多介さんは介護保険制度についてあまりよく理解していないようでした。そして、このままでは多介さんとご主人の安全が保てないと感じました。そこで、詳しく状況を知るために家庭訪問をし、梨代さんとご主人に必要な介護保険サービスを紹介することにしました (10 分間)。